

テーマ（自分が調べたいこと）

調べたこと



考え方の
視点を選ぶ

考えたこと

- ① 感想をもつ
- ② 理由づける
- ③ 関係づける

作者・筆者

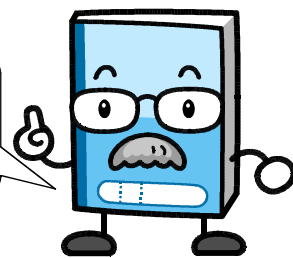
本の題名

分類記号

分類をもとに本を見つけよう

名前

図書館には、家の本だなよりたくさん本がありますね。
たくさん本の中から必要な本を探す方法を覚えましょう。



1 本のなかま分け

内容により10のなかまに分けられていて、0～9の番号で表しています。

日本十進分類法

ぶんるい 分類記号	主 な 内 容
	そう き 総記 (百科事典・ <small>ねんかん</small> 年鑑・調べる本)
	てつ がく しゅうきょう 哲学・宗教 (心理・ <small>とく</small> 道徳・ものの考え方・生き方)
	歴史・地理・伝記 (地いきの様子)
	社会科学 (<small>せいじ</small> 政治・ <small>けいざい</small> 経済・教育・ <small>し</small> 福祉・伝説)
	自然科学 (算数・理科・電気・動物・植物・医学)
	ぎ じゆつ 技術・工学 (機械・家庭)
	産業 (農林水産業・商業・交通)
	げい じゆつ 芸術 (音楽・ <small>えんげき</small> 演劇・ <small>とう のう</small> 伝統芸能)
	言語 (言葉・日本語・外国語・辞典)
	文学 (詩・短歌・ <small>はいく</small> 俳句・物語)

2 ラベルの暗号をとけ！

4 6 0	←	分類記号 ()
ゴ	←	図書記号 ()
3	←	かんさつ 巻冊記号 ()

3 みんなで「60冊^{さつ}図書館」をつくろう！

- ① 班ごとに「10冊の本」「分類記号カード」を配る。
- ② それぞれの本が、0～9のどの分類になるか班で相談をして、分類記号カードをクリップで本に付ける。
- ③ 全体で本を紹介しながら分類記号0～9の順番に並べ、「60冊図書館」を作る。



4 ふりかえり

今日の学習をして、分かったことや思ったことを書きましょう。

国語科学習指導案

2年 場所：図書室

1 単元名 しゃしんをつかってせつめいしよう

教材名 さけが大きくなるまで

2 本時の展開 (11/11)

(1) **ねらい** 読み聞かせを聞いて、さけのすごいところや不思議なところを探し、見つけた情報を基に感想を書くことができる。

(2) **準備** 教師：図書「ピリカお母さんへの旅」、情報シート掲示用、情報シート、カラーペン
児童：筆記用具

(3) 展開

学習活動・予想される児童の反応	時間	○指導上の留意点及び支援 ◇評価
<p>1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈本時のめあて〉</p> <p>読み聞かせを聞いて、さけのすごいところや不思議なところを探し、それについて感想をもつことができる。</p> </div>	5分	<p>○既習を確認するために、「さけが大きくなるまで」で学んださけのすごいところ、不思議なところを発表させる。</p> <p>○学習課題を確認するために、教師が情報シートのテーマの欄に学習課題を記入し、児童にも記入させる。</p>
<p>【学習課題】 さけの「すごいところ」「ふしぎなところ」を探そう。</p>		
<p>2 「ピリカ、おかあさんへの旅」の読み聞かせを聞いて、見つけたさけの「すごいところ」「ふしぎなところ」を情報シートに書き、発表して共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たきをのぼるところ。 ・生まれた川を覚えているところ。 ・命がけなところ。 ・たまごを3000個も産むところ。 	15分	<p>○情報シートの使い方を理解するために、教師が本の題名と作者・筆者と分類記号の項目に記入し、児童にも記入させる。</p> <p>○自分の考えをもてるように、交流させたり情報シートに書かせたりしてから発表させる。</p> <p>○情報を共有するために、子どもの発言を掲示用情報シートの「見つけたこと」の欄に書いていく。</p>
<p>3 「見つけたこと」に書いた情報の中から一番「すごい」「ふしぎ」と思った情報を選び、それについての感想を情報シートに書き発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サケは、自分の体が傷ついてもたまごを3000個も産むから、とても頑張り屋だと思った。 ・ピリカがお母さんのにおいを覚えていて、生まれた川に帰れるからとても頭がいいと思ったし、不思議だとも感じた。 	15分	<p>○思いを明確にしていくために、情報シートの考え方の視点「比べて感想をもつ」に丸を付けさせる。</p> <p>○心に残った情報について考えられるように、一番心に残った情報に線を引かせる。</p> <p>○情報を共有するために、子どもたちの発言を掲示用情報シートの「考え」の欄に書いていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇ 絵本の読み聞かせを聞いて共有した情報を比べて、一番心に残ったことについての感想を書くことができた。(ワークシート)【書く】</p> </div>

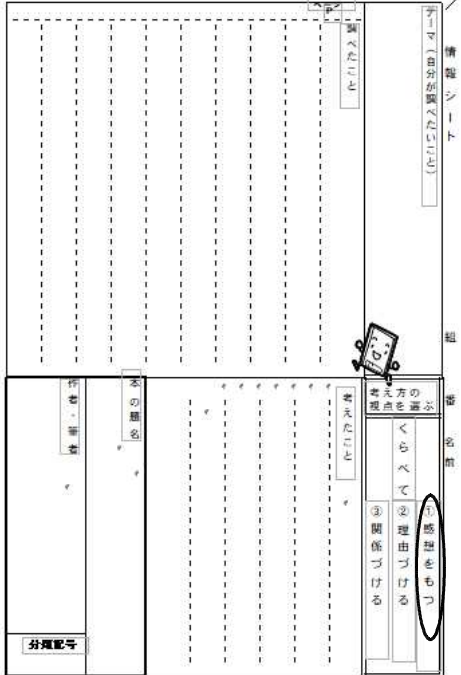
<p>4 本時を振り返り、教科書以外のサケに関連する本「ピリカお母さんへの旅」の読み聞かせを聞いてよかったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいことが分かった。 ・サケのことをもっと知りたくなった。 ・サケのことがもっと分かった。 ・サケのことが好きになった。 	<p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○次単元「生きもののことをせつめいしよう」での調べ学習につなげられるように、自然科学（分類記号4）の棚にある図書「サケのたんじょう」等を紹介する。 ○自然科学の他の本も読んでみたい、調べてみたいという気持ちをもてるように、自然科学（分類記号4）の棚の本を紹介する。
---	------------	---

3 板書計画

ふりかえり

- ・教科書にはない新しいことが分かった。

しぜんぶんや（分類記号4）の他の本も読んでみよう。



① さけの「すごいところ」「ふしぎなところ」をさがそう。

○ピリカお母さんへの旅

国語科学習指導案

4年 場所：図書室、教室

1 単元名 興味をもったことを紹介しよう

教材名 ウミガメの命をつなぐ

2 考察

(1) 教材観

本単元では、学習指導要領の読むことエ「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること」書くことウ「書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと」が目標となっている。前学年の「くらしと絵文字」では、身の周りで見つけた絵文字についてのよさや大切さを理解し、相手意識をもち説明する学習をしてきた。本単元では、文章を読んで一人一人が興味をもったことについてまとめ、伝えたい思いを明確にして紹介文を書く活動をしていく。

本教材「ウミガメの命をつなぐ」には、ウミガメの生態を明らかにし、保護しようと研究を続ける名古屋港水族館の取組が説明されている。水族館の様々な生き物の姿や暮らしぶりを見せるという役割については理解している児童が多いが、生き物を保護するために研究を続ける取組については初めて知る児童が多く、未知の内容に興味をもち学習することができると思う。また「ウミガメの命をつなぐ」という題名や「世界のウミガメは、全て絶滅の恐れがある動物に指定されている」という記述に関連して、他にもレッドリストに載っている動物がいることに気付き関心をもてる内容となっている。児童は、図書で絶滅の恐れがある動物について調べ、興味をもった動物についての情報を集める中で、動物園やメディアなどで親しんでいる動物がレッドリストに載っていることに驚き、どうして絶滅の危機にあるのかという疑問をもつことと思われる。

本単元では「命をつなぐレッドリストを作ろう」という課題を設定し、図書から紹介したい動物を選び、情報を集めて整理・検討して伝えたい思いを明確にして、「はじめ」「中」「おわり」の構成で紹介文を書く活動をしていく。図書から必要な情報を集めて整理・検討する中で、伝えたい情報を選択し、伝えたい思いを明確にする力が付くと考える。

(2) 児童の実態及び指導方針

- ・図書の分類を意識して、本を探すことに慣れてきている。自己テーマに合った本を選び情報を探せるようになった児童もいるが、テーマに合った本が選べない児童もいる。図書で調べる際は、テーマが近い児童同士を同じグループにして、お互いが探した図書や情報について情報交換できる時間を設けたい。
- ・図書で調べた情報を選び、選んだ理由を考える場面において、「比べて理由付ける」考え方の視点に沿って考えを書ける児童は半数程度いるが、調べた感想のみになってしまう児童もいる。考え方の視点に沿って書いたものが紹介文の中でどのように使われるかを説明したり、書き方文例を示したりして、指導していきたい。
- ・思いを明確にして表現する場面では、情報シートの「調べたこと」「考えたこと」の欄を基にして文章を構成している児童が多い。しかし、情報シート記述の活用方法に迷う児童もいるので、紹介文例を基に「はじめ・中・終わり」に書く内容を示したり、情報シートに線を引いたり、書き込ませたり、操作させたりして、伝えたい思いを考えながら表現できるようにしていきたい。

3 研究との関わり

本単元では、図書から情報を集め、そこから伝えたい情報を選び、選んだ理由を考えることで思いを明確にして、紹介文を構成していく。まず、情報シートを活用し、図書から紹介したい動物とテーマを決める。この際に、情報を比べて理由付ける視点で整理・検討した考えは、紹介文の「はじめ（紹介しようと思った理由）」に生かすことができる。次に、情報シートを活用し、テーマについての情報を図書から集める。この際に、情報を比べて理由付ける視点で整理・検討した考えは、紹介文の「終わり（まとめ）」に生かすことができる。そして、集めた情報を基に動物の説明としてまとめて書き「中」とす

ることができる。

以上のように、情報シートを活用し、図書から情報を集め、伝えたい情報を選び、考え方の視点に沿って思いを明確にしていく。明確になった伝えたい思いを基にして構成を考えて文章を書くことにより、「情報を整理・検討し、伝えたい思いを明確にして表現する力」を育てたいと考える。

4 単元の見目標

中心となる言葉や文を捉えて段落相互の関係を考えながら読み、伝えたい情報と明確にした思いを紹介文に表すことができる。

5 指導計画（全10時間予定）

評 価 規 準	関心・意欲・態度	説明文の内容に興味をもち、興味をもったことについての紹介文を書こうとしている。
	読む能力	紹介文を書くという目的に応じて図書から情報を集め、伝えたい情報を選択し、情報についての思いを明確にしている。
	書く能力	「調べたこと（情報）」と「考えたこと（思い）」のつながりを考えながら、明確にした思いが伝わる紹介文を書いている。

過程	時間	○ねらい ・学習活動	支 援	評価項目
課題把握	1	○題名から説明文の内容を捉える。 ・題名にある言葉や、出現頻度が多い言葉からキーワードを探す。	・説明文の内容を把握するために、題名について考えさせる。 ・文章中からキーワードを探すために、出現頻度が多い言葉に着目させる。	・説明文の内容に興味をもち、絶滅の心配がある生き物の紹介文を書こうとしている。 【関・意・態】
	1	○学習課題を把握し、紹介文を書く見通しをもつ。 ・題名から問いを作り、それについて考え、ウミガメが絶滅の危機にあることを知り、他の生き物についても考える。	・説明文の主題を把握するために、題名から問いを作り、それについて考える。 ・目的意識をもたせるために、図書館に「命をつなぐレッドリストコーナー」を作ること伝える。	
単元の課題：「命をつなぐレッドリスト」動物の紹介文を作ろう				
課題追究	1	○図書で調べて、紹介したい動物を選びテーマを決める。 ・情報シートを活用し、図書室の絶滅危機動物や動物についての図書から紹介したい動物を探し、テーマを考える。 集める・選択する	・必要とする図書が探せるように、分類記号何番で探すことができるか考えさせる。 ・集めた情報を比べて伝えたい情報に線を引かせ、比べて理由付ける視点で考えを書かせる。	・図書から情報を集め、それらを比べて理由付ける視点で考え、紹介したい動物を選びテーマを決めることができる。 【書く】 (図書室)
	1	○紹介文の「はじめ・中・終わり」の構成と内容について例文を基に考え、要約の定義や要約の仕方を理解する。 ・紹介文例を基に構成を考え、要約の定義と要約の仕方について考える。	・要約の定義と仕方を学習させるために、教科書の紹介文例を基に考えさせる。 ・紹介文例の要約部分を見て、要約することのよさを考える。	・要約の定義と仕方について理解し、要約のよさについて考えることができる。 【読む】
	1	○教材文「ウミガメの命をつなぐ」から紹介したいことを決	・要約する情報が整理できるように、情報シートに書き出し	・紹介したいことを考えながら情報を探

		めて、大事な言葉や文を使ったり、言い換えたりして要約する。 ・紹介したいことに応じて情報シートに書き出した言葉や文を使ったり言い換えたりして要約する。	た言葉や文の必要な箇所に線を引かせる。	し、書き出した言葉や文を基に要約することができる。 【読む】
1		○説明文における写真・図・表の効果を考える。 ・説明文に写真・図・表が使われていることの効果を理解するために、写真・図・表から分かることについて考える。	・写真・図・表の効果を考えるために、それらがなくどうかを考えさせる。 ・写真・図・表の効果を考えるために、それらから分かること、疑問に思うことについて考えさせる。	・写真・図・表から考える活動を通して、説明文の中での効果を理解することができる。 【読む】
1		○テーマについての情報を図書から探し、集めた情報について整理・検討して思いを明確にする。 ・情報シートを活用し、図書からテーマについての情報を探し、伝えたい情報を選び、思いを明確にする。 集める・選択する	・図書を活用させるために、分類記号、題名、目次、索引について確認させる。 ・集めた情報を整理・検討して伝えたい情報を選び線を引かせ、情報を選んだ理由を比べて理由付ける視点で書かせる。	・図書から情報を集め、それらを比べて、理由付ける視点で考え、伝えたい情報と伝えたい思いを明確にすることができる。 【書く】 (図書室)
2		○情報シートの「調べたこと」「考えたこと」の欄を整理・検討して、「情報」と「思い」を基に「はじめ・中・終わり」の文章を構成する。 ・明確になった思いを伝えるために情報シートに集めた「情報」や「思い」を基に構成することにより、紹介文を書く。 構成する	・紹介文の「はじめ・中・終わり」に書く内容を理解した上で、情報シートに記述してある「情報」と「思い」を基にして構成を考えさせる。	・はじめ・中・終わりの構成を考えて伝えたい思いを明確にして紹介文を書くことができる。 【書く】
まとめ	1	○紹介文を友達と読み合い、よいところを見付け、学んだことの振り返りをする。	・友達の紹介文のよいところが見付けられるように、内容や構成についての観点を示す。 ・身に付いた力が自覚できるように、学んだことや感想を書かせる。	・紹介文を読み合い、友達の紹介文のよいところを見付け、学んだことを振り返ることができる。 【書く】

6 本時の展開 (7/10)

- (1) **ねらい** 自己テーマについての情報を図書から集め、伝えたい情報と伝えたい思いを明確にすることができる。
- (2) **準備** 教師：情報シート、情報シート拡大図、紹介文の例文、ペン
児童：情報シート入れ
- (3) **展開**

学習活動・予想される児童の反応	時間	○指導上の留意点及び支援	◇評価
1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しをもつ。 〈本時のめあて〉 自己テーマについての情報を図書から集め、伝えたい情報と伝えたい思いを明確にする。	5分	○前回、図書館で情報を集めてテーマ決定したことを振り返る。	
【学習課題】 情報を集めて伝えたい思いを明確にしよう			

<p>2 紹介したい動物について、分類記号を基に図書を探し、情報シートに情報を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然分野は分類記号4の図書だね。 ・分類記号0の百科事典でも分かるね。 ・目次、索引を見ると調べやすいね。 	<p>30分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○図書を活用させるために、分類記号何番で調べられるのか、本のどこ（目次・索引）を見て探したらよいかを全体で確認する。 ○情報シートの使い方を理解するために、拡大したシートを提示し、それぞれの項目に書く内容、一冊の本につき一枚の情報シートに書くことを確認する。 ○情報を比較して考えがもてるように、図書を二冊調べることを目標とすることを伝える。
<p>3 図書から集めた情報を比べて伝えたい情報を選び、その情報を選んだ理由を考えて思いを明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アザラシの生息地が人間によって奪われていることを知り、人間がどうすべきか考えていきたいと思った。 ・イモリの生息地や体の特徴を知れば知るほど面白いと思ったので、絶滅しないように守る方法を考えたい。 	<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○思いを明確にしていくために、情報シートの考え方の視点「比べて理由付ける」に丸を付けさせる。 ○調べた情報を整理するために、伝えたい情報に線を引かせる。 ○伝えたい思いを明確にするために、線を引いた情報を選んだ理由を考えたことの欄に書かせる。
<p>◇ テーマについての情報を図書から集め、伝えたい情報と伝えたい思いを明確にすることができた。</p> <p>(情報シート)【書く】</p>		
<p>5 本時を振り返り、図書で調べてよかったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真や地図が載っていて目で見て分かりやすかった。 ・新しいことを知り、もっと調べたいと思った。 	<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の成果を全体で共有するために、数人の児童に情報シートに書いた伝えたい思いを発表させる。 ○本時で身に付いた力を認識するために、図書で調べた感想を交流させる。

7 板書計画

紹介文例

ふりかえり

- ・新しいことを知り、もっと調べたいと思った。
- ・調べたことについて考えてテーマが決められた

④ 命をつなぐレッドリスト動物の紹介文を作ろう。

⑤ 伝えたい思いを明確にしよう。

国語科学習指導案

4年 場所：図書室

1 単元名 日本語のひびきにふれよう

教材名 短歌の世界

2 考察

(1) 教材観

本単元では、学習指導要領、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア伝統的な言語文化に関する事項の（ア）「易しい文語調の短歌や俳句について、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりすること」が目標となっている。前学年の「俳句に親しむ」でも文語調の言葉のリズムや響きを楽しんできた。本単元では、文語調の言葉やリズムに触れてよさを味わうとともに、古来から受け継がれてきた日本の言葉や文化、そこに寄せる人々の心の中には現代社会においても共感できることが多くあることを感じさせたい。

本教材「短歌の世界」には、「万葉集」「古今集」「新古今集」などから近代的な歌人の作品までが、時代順に紹介されている。解説文と照らし合わせて様子を想像しながら読んだり、写真から情景を思い浮かべたりすることを通して、短歌に書かれている季節・情景・心情・言葉の意味などに関心を持ち、それぞれの短歌の意味を理解し表現の面白さを実感することができる。また、31文字で表せるという手軽さも感じることができるであろう。それをきっかけとして、他の短歌も知りたい、自分も短歌を作ってみたいという意欲が生まれてくる教材である。さらに、図書館で短歌、俳句、歳時記、自然分野の図書から情報を集めて短歌の知識を紹介し合ったり、調べた言葉を基に短歌を作ったりすることにより、我が国の伝統文化のよさに体験的に気付くことができる教材であると考えられる。

3 研究との関わり

短歌を、季節・情景・心情・言葉の視点から鑑賞したり、リズムを楽しんだり、暗唱したりする活動を通して興味・関心を高めた上で、自分の思いを込めた短歌を作る活動をしていく。作る際には、伝えたい季節や気持ちに合った短歌を作るために、図書館の短歌・俳句・歳時記・自然分野などの図書から情報を集める。そして、見つけた短歌や俳句や言葉を情報シートに書き込み、それらの情報から自分の思いに合った言葉を選んだり、イメージを膨らませたりして表現に生かしていく。

以上のように、自己テーマ（季節・気持ち）に合った情報を図書から探し整理・検討することにより「情報を整理・検討し、伝えたい思いを明確にして表現する力」を育てたいと考える。

4 単元の目標

短歌のリズムや文語の響きに興味をもち、自己テーマに合った情報を集め、それらの情報からテーマに合った言葉を選んだりイメージを膨らませたりして短歌を作ることができる。

5 指導計画（全6時間予定）

評価 規 準	関心・意欲・態度	短歌に表れたリズム・季節・言葉・気持ちを味わい、想像しながら鑑賞しようとしている。
	書く能力	テーマについて図書から集めた情報を、比べて理由付ける視点で整理・検討し、表現に生かして短歌を書いている。
	伝統的な言語文化	短歌のリズムや文語の響きを感じ、音読をしている。

過程	時間	○ねらい ・学習活動	支 援	評価項目
課題把握	1	○単元の課題を把握するとともに、短歌のきまりやよさを確認する。 ・既習の俳句と比べながら短歌のきまりやよさを考える。	・イメージを膨らませやすくするために、写真を掲示する。 ・短歌のきまりを理解するために、既習の俳句の知識を思い出させ、短歌との共通点・相違点を考えさせる。 ・短歌の鑑賞をするために、リズム・季節・言葉・気持ちという視点をもたせる。 ・短歌を作りたいという意欲を高めるために、31文字に思いが込められる手軽さを感じさせる。	・短歌のリズム・季節・言葉・気持ちに関心を持ち、意欲的に短歌を作ろうとしている。 【関・意・態】
単元の課題：自分の気持ちを込めた短歌を作ろう				
課題追究	1	○季節や気持ちを想像しながら、お気に入りの短歌を選んで短歌の世界を楽しむ。 ・音読をしながら短歌のリズムを楽しみ、お気に入りの短歌を鑑賞する。	・短歌のリズムに親しめるようにするために、全体読みをしたり、上の句・下の句を分けて交互に読んだり工夫する。 ・短歌の鑑賞をするために、視点（リズム・季節・言葉・気持ち）を共通理解する。	・季節や言葉や気持ちを想像しながら、お気に入りの短歌を選び短歌を鑑賞している。 【関・意・態】
	1	○情景や心情を想像しながら、お気に入りの短歌を選んで短歌の世界を楽しむ。 ・お気に入りの短歌を紹介し合い短歌のよさを共有し、自分の気持ち込めた短歌のテーマを考える。	・同じ作品を読んでも選んだ理由が違うことに気付かせるために、教科書の作品順に発表させる。 ・自分の思いをこめた短歌を作るために、自己テーマとして、季節と気持ちを考えさせる。	・短歌を選んだ理由の発表を参考にして、自分が作る短歌のテーマ(季節と気持ち)を考えている。 【書く】
	1	○自己テーマに沿って集めた情報を、比べて理由付ける視点で整理・検討して自己テーマに合った言葉を探したりイメージを膨らませたりする。 ・図書館の、俳句、短歌、歳時記、自然分野の図書から、自己テーマに合った内容を探し情報シートに書く。 集める・選択する	・児童同士で交流するために、テーマに関連性がある児童同士を隣に座らせる。 ・調べることができる本を共通理解するために、日本十進分類法を提示する。 ・短歌の鑑賞をするために、視点（リズム・季節・言葉・気持ち）を確認する。	・自己テーマに沿って集めた情報を、比べて理由付ける視点で整理・検討して、テーマに合った言葉を探したりイメージを膨らませたりすることができる。 【書く】(図書館)
	1	○自分のテーマに沿って調べた情報を基にして、気持ちを込めた短歌を作る。 ・自分の気持ちを込めて短歌に	・短歌を作りやすくするために、鑑賞の視点（リズム・季節・言葉・気持ち）を提示する。	・自己テーマに沿って集めた言葉を使い、気持ちを込めた短歌を作っている。

		表す。 構成する		【書く】
まとめ	1	○友達の短歌から伝わってきたことやよいところを発表する。 ・作った短歌を発表し合い、鑑賞の視点に沿ってよいところを発表する。	・友達の作品のよいところに気付けるように、鑑賞の視点(リズム・季節・言葉・気持ち)を提示する。	・友達の短歌から伝わってくることを考えて、よいところを探することができる。 【関・意・態】

6 本時の展開 (4/6)

- (1) **ねらい** 自己テーマ(季節・気持ち)に沿って集めた情報を、比べて理由付ける視点で整理・検討して、テーマに合った言葉を探したりイメージを膨らませたりすることができる。
- (2) **準備** 教師：日本十進分類法の表、移動式黒板、情報シート、情報シート拡大図、情報シートを入れる袋
児童：教科書

(3) 展開

学習活動・予想される児童の反応	時間	○指導上の留意点及び支援 ◇評価
1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈本時のめあて〉 自己テーマに沿って集めた情報を比べて理由付ける視点で整理・検討して、テーマに合った言葉を探したりイメージを膨らませたりすることができる。</p> </div>	5分	○交流がしやすいように、自己テーマ(季節、気持ち)に関連があるペアとなる座席を指定する。 ○テーマを確認するために、ペアで伝え合わせる。 ○自己テーマに合った短歌を作るために、図書で情報を集めることを説明する。
【学習課題】 自分のテーマに合った短歌・俳句・言葉を探そう。		
2 自己テーマに沿って短歌、俳句、歳時記、自然分野などの図書から情報を集め情報シートに書く。 ・季節のことが分かる本はあるかな。 ・短歌の本は分類記号9だね。 ・俳句にもヒントがありそうだな。 ・自然分野の本でも季節が分かるかな。 ・どの本で調べたらよいかな。	20分	○情報シートの使い方を理解するように、それぞれの項目に書く内容と、一冊の本につき一枚の情報シートに書くことを確認する。 ○分類番号を基に図書を探せるように、日本十進分類法を掲示する。 ○10分経過したら、ペアで共有したり相談したりしてよいことを伝える。
3 情報シートに集めた情報を、比べて理由付ける視点で整理・検討し、使いたい言葉を探したりイメージを膨らませたりする。 ・二つの言葉を比べてリズムがよい方を使おうと思った。 ・春の言葉は花が多いことが分かったから使いたい。 ・うれしい気持ちはこの言葉で伝えられると思った。	15分	○言葉を選んだり、イメージを膨らませたりすることができるように、比べて理由付ける視点で考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◇ 自己テーマに沿って集めた情報を比べて理由付ける視点で整理・検討して、テーマに合った言葉を探したりイメージを膨らませたりすることができた。(情報シート)【書く】</p> </div>

5 本時を振り返り、図書で調べてみてよかったことを発表する。

- ・新しい言葉をたくさん知ることができた。
- ・言葉と言葉を比べたり、組み合わせを考えたりすることができた。

5 分 ○本時で身に付いた力を認識するために、図書で調べた活動の感想を交流させる。

7 板書計画

ふりかえり

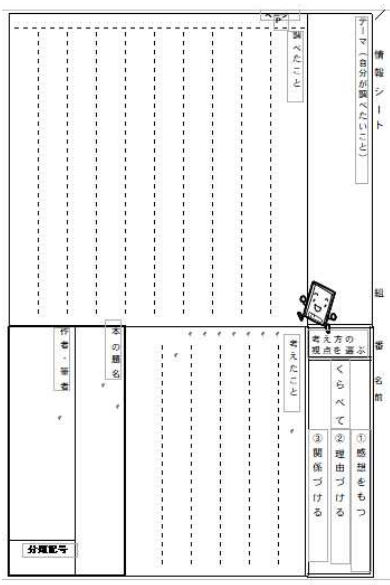
- ・本で調べると、新しい言葉をたくさん知ることができた。
- ・言葉と言葉を比べて考えることができた。

日本十進分類法の表拡大図

①自分の気持ちをこめた短歌を作ろう。

②自分のテーマに合った
短歌、俳句、言葉などを探そう。

◎自己テーマ
・季節↓春・夏・秋・冬
・気持ち↓楽しい・ワクワク・さみしい・
ドキドキ



国語科学習指導案

6年 場所：図書室

1 単元名 説得力のある文章を書こう

教材名 意見文を書こう

2 本時の展開 (1/6)

- (1) **ねらい** 身近な環境問題について図書から課題を探し、日頃の生活や社会と関係付けて意見文に書く必要のある事柄を選ぶことができる。
- (2) **準備** 教師：情報シート、情報シート掲示用、意見文例文、カラーペン
児童：筆記用具
- (3) **展開**

学習活動・予想される児童の反応	時間	○指導上の留意点及び支援 ◇評価
<p>1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈本時のめあて〉 身近な環境問題について図書から課題を探し、日頃の生活や社会と関係付けて意見文に書く必要のある事柄を選ぶことができる。</p> </div>	5分	○身近な環境課題とはどんなものがあるのか把握するために、教科書の意見文を読む。
<p>【学習課題】 身近な環境問題についての意見文を書こう。</p>		
<p>2 自分自身の体験や、テレビ、新聞などから見付けた身近な環境問題について発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食が残ってしまいゴミになってしまう。 ・気温が上がりすぎて熱中症の人が増えている。 ・気温が上がりすぎるとスポーツができない。 ・リサイクルをしている人が少ない。 ・メダカが住める川が減っている。 	5分	○身近な環境をよくするための意見文を書くために、社会や学校の中の課題を考えることを説明する。
<p>3 図書から、現代の社会や日常生活で課題となっている課題問題を探し情報シートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー問題、温暖化問題、ゴミ問題、自然保護、資源問題、リサイクル、省エネルギー等についての図書を読み、気になった表現を引用する。 	25分	○情報を比較して考えがもてるように、図書を二冊調べることを目標とさせる。 ○環境について調べることができるように、分類記号何番の本で調べられそうか考えさせる。(5番)
<p>4 調べた情報を比較し、自分達の生活や社会の実態と関係付けて整理・検討して自己テーマを決める。</p>	10分	○身近な環境問題や生活と関係付けて考えがもてるように、一番伝えたい情報に線を引かせ、それを選んだ理由を比べて関係付ける視点で考えさせる。
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>◇ 身近な環境問題について図書から課題を探し、日頃の生活や社会と関係付けて意見文に書くテーマを決めることができる。 (情報シート)【書く】</p> </div>		

3 板書計画

ふりかえり

- ・生活と関連付けてテーマを決めたことで考えが深まった。

意見文例 (序論)

④ 身近な環境問題についての意見文を書こう。

- 体験、テレビ、新聞などから見つけた課題
- ・給食を残してしまいゴミになっている
- ・温暖化
- ・ペットボトルがゴミ箱に捨てられている